

便を提出するだけ！ 大腸がん検診(無料)を 受けよう！

こんにちは
保健師です



大腸がん、増えています

大腸がんは、40～50歳代の若い世代から増えており、女性の死因の第1位、男性の死因の第3位です。

大腸がんは早期発見・早期治療すれば、95%以上が治ります。がんを早期の段階で見つけるためには、がん検診を受けることが大切です。

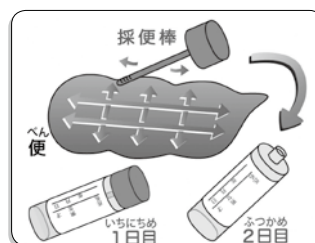
● 部位別がん死亡数(2015年)

	男性	女性
肺がん	1位	大腸がん
胃がん	2位	肺がん
大腸がん	3位	胃がん

(国立がん研究センターがん情報サービス)

大腸がん検診ってどんな検診？

- 対象 40歳以上全員
- 料金 無料
- 検査内容 便潜血検査(2日分の便を採って提出する検査です)
- 受診方法 集団検診/個別検診



その他のがん検診

※年齢は平成31年3月31日時点の年齢

<p>● 胃バリウム</p> <p>対象 40歳以上 料金 1,000円★</p>	<p>● 胃カメラ(2年に1回)</p> <p>対象 50歳以上 料金 2,500円 ※生活保護世帯のみ無料</p>	<p>● 乳がん(2年に1回)</p> <p>対象 35歳以上の女性 料金 49歳以下 1,200円★ 50歳以上 1,000円 内容 マンモグラフィ</p>
<p>● 肺がん</p> <p>対象 40歳以上 料金 500円★ 内容 胸部X線</p>	<p>● 前立腺がん</p> <p>対象 50歳以上の男性 料金 1,500円 内容 血液(PSA)検査</p>	<p>● 子宮頸がん(2年に1回)</p> <p>対象 20歳以上の女性 料金 500円★ 内容 内診、細胞診</p>

★印は、70歳以上(肺がん検診は65歳以上)、非課税世帯、生活保護世帯は無料

検診の受診方法

① 集団検診(カミリーヤや文化会館などで行っている時に受ける検診です)

胃バリウム、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんを受診できます。

※ハガキまたは市ホームページで要予約(大腸がん検診のみを希望する人は問い合わせください)

② 個別検診(個人で医療機関を予約し、受ける検診です)

大腸がん、胃カメラのみ受診できます。

※胃カメラ検診は受診券が必要です。事前に市に申請してください。



集団検診の日程や受け方など、詳しくは4月配布の健康カレンダーをご覧ください。健康カレンダーは市ホームページから見る事ができます。市ホームページ→分類から探す(健康・子育て・福祉)→健康情報→健康カレンダー→右の二次元コードからもアクセスできます。



■ 問い合わせ先 健康推進課(カミリーヤ内) ☎(9 2 0) 8 6 1 1